

目的(なぜユースがIGFに参画するのか)

[上田コメント]
IGF活動にユースが参画する(参画しなければならない)理由はこのように整理できると私は理解しています。
(私の理解なのでもし「それは違う」等ありましたら、コメントいただけますと幸いです。)

ユース世代は生まれながらにしてそこにインターネットがあったデジタルネイティブ世代である。
日頃当たり前に使っているインターネットは、どのように成り立ち、どのような課題があり、どのような配慮をする必要があり、どう解決していくべきか国内外で議論を行い解決に導く必要がある。
特に、これから新たなコンテンツや技術、法律を生み出していくユース世代が自分ごととして捉え、グローバルなインターネットのコンテンツ・技術・ルールづくりをしていく必要がある。

目標設定(IGFに参画したユースはどこを目指し、ゴールとするのか)

日本のユースが、ユースに特有な国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの議論を先導し、課題を発見し、解決する。

行動目標②

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの議論を行う場でユースがプレゼンスを発揮することができる

行動目標①

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの議論を行う場にユースが参画し、議論することができるようになる

成果目標②

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの課題を解決する。

成果目標①

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの課題を発見する。

中間目標①(=行動目標① + 成果目標①)を達成するために

行動目標①

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの議論を行う場
にユースが参画し、議論することができるようになる

成果目標①

国内・地域・グローバルなインターネットガバナンスの 課題を発見
する。

[上田コメント]
↓2つの活動は中間目標①を
達成するための活動と認識。
また、提供いただいた資料は、
基本的にはこれら
2つの活動の詳細が記載されていると認識

JPNIC資料に記載があった活動

既存イベントへの日本からの若者送り込み

■最終ゴール:
IGF 2023のユースイベントに十分な数の日本からのユースが参加し、
発言・議論する

以下細分化した小目標と認識

- 2023年国内事前会合でユースが発表
- Asia Pacific Youth IGF 2023に日本からのユースが参加
- 2022年国内事前会合にユースが参加

JPNIC資料に記載があった活動

インターネットガバナンスに関して若者が勉強できるようにする枠組 みの構築

■最終ゴール:
インターネットガバナンスの課題や現状等の知識を獲得する

以下成果目標①を細分化した小目標と認識

- 2022年国内事前会合後、AP Youth IGF 2023までの間に勉強
セッションを月1回程度のペースで開催

私が資料を拝見した所感

- IGFがわかっている方向けに作成されている資料と感じたのでユースがこの活動に参画する(参画しなければいけない)理由があった方が良く感じました。
(私の資料1ページの目的部分(合っているか間違っているかは一度置かせてください!..))
- どのようにしてユースを集めてくるかを、もう少し議論する必要があるように思いました。
例えば、IGFコミュニティやJPNICに関与・参画されている先生の研究室に募集をかける、関連企業への声かけを行う、enpit (*)のような学術ネットワークを使う、IPAの中核人材育成プログラム(**)のようなプログラムで広報する、その他総務省の教育プログラムで広報する等
- ユースが参画することのメリットが見えづらいように感じました。
例えば、活動案としてあった勉強会であれば、大学生向けであれば授業の単位として認める、社会人向けであればITスキル標準(***)の一つとして認める(スキルアップになる)、あるいは仕事の一環としてできる(出向あるいは長期教育プログラムへの参画となる)等
- おそらく有志だけでは息が長く続かないように感じたので、ユースが継続的に参画できる仕組みを作らなければいけないと感じました。
例えば、教育機関のプログラムとして、IPAの中核人材育成プログラムやenpitのような枠を作り、研究をしながら(入学・卒業のように)数年周期でユースが継続的に参画し、人材がプールできる仕組みを作る等。

* : <https://www.enpit.jp/>

** : https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/core_human_resource/index.html

*** : https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/download_V3_2008.html